

子育てしやすい 職場づくりに取り組む 企業を応援します

島根創生
SHIMANE SOUSEI



事業者の
皆様へ

出産後の職場 復帰に取り組む 企業を応援します

子育てしやすい職場づくり奨励金

対象事業者 島根県内に本社(または主たる事業所)がある中小・小規模事業者等
(社会福祉法人、医療法人、NPO法人、個人事業主なども対象です)
対象事業所 常勤労働者数50人未満の、島根県内の事業所(本支店、営業所等)

出産後職場復帰奨励金

奨励金 **10万円** [1制度導入]
上限20万円

次のA・Iの制度を令和2年4月1日以降に導入し、令和4年度内に一定の利用実績があること
A 時間単位の有給休暇制度
【対象】18才までの子どもがいる労働者(実績)対象者1名が合計8時間取得
I 育児短時間勤務制度の育児対象拡大(小学6年生以下)
【代替制度】フレックスタイム制度、始業終業時刻の繰上げ繰下げ
【対象】2才以上小学6年生以下の子どもがいる労働者(実績)対象者1名が合計20日間利用
*申請期限:支給要件を満たした翌日から6カ月以内
※奨励金の用途に定めはありませんので、就業規則作成費用などにも活用していただくことができます。

【令和2年4月1日以降に産前休業を開始した場合】

労働者30人未満の事業所、かつ初めて本奨励金を申請する事業所の場合 **20万円/人** 左記以外の常勤労働者50人未満の事業所 **10万円/人**

主たる事業所
・育児休業を3ヶ月以上取得し、職場復帰した労働者を3ヶ月以上雇用していること
・労働者の育児休業の取得について就業規則等に明文化されていること
・労働者の育児休業取得や出産後の職場復帰、子育てに関する支援に今後も取り組むこと
*申請期限:支給要件を満たした翌日から6カ月以内

【令和2年3月31日までに産前休業を開始した場合】

育児休業17か月以上 **40万円/人** 育児休業3か月以上17か月未満 **20万円/人** 育児休業3か月未満または産休のみ **10万円/人**

主たる事業所
・産前産後休業または育児休業を取得し、職場復帰した労働者を3ヶ月以上雇用していること
・労働者の育児休業の取得について就業規則等に明文化されていること
・労働者の育児休業取得や出産後の職場復帰、子育てに関する支援に今後も取り組むこと
*申請期限:支給要件を満たした翌日から1年以内

詳しい内容・申請方法は、お近くの商工会までお問い合わせください
島根県商工会連合会本所 TEL 0852-21-0651
島根県商工会連合会石見事務所 TEL 0855-22-3590

補助事業実績紹介

新型コロナウイルス感染症・物価高騰などの影響で国、島根県が中小企業、小規模事業者に対し様々な支援策を打ちだし、商工会も会員事業者に寄り添いながら申請・報告のサポートをしました。主な案件は、以下のとおりです。

【(国)小規模事業者持続化補助金】

小規模事業者に販路開拓・生産性向上を目指した取り組みに要する経費を一部支援する制度です。商工会のサポートを受けつつ経営計画書や補助事業計画書を作成し、審査の結果、採択が決定されれば補助が受けられるというものです。

令和4年度採択件数 5件

【申請締切等について】

本補助金の申請締切は、年に4回程度設けられています。
詳しくは、下記URLをご確認ください。

https://www.shokokai.or.jp/iizokuka_r1h/



【(県)飲食・商業・サービス業等 省エネ性能 エネルギーコスト削減対策緊急支援事業】

エネルギー価格高騰の影響を受けている飲食・商業・サービス業等(建設業を含む)を営む中小企業等に対して、エネルギーコスト削減を図るための取り組みの経費の一部を補助するものです。

令和4年度採択件数 14件

【申請締切】令和5年3月31日(金)、5月31日(水)、7月31日(月)、9月30日(土)の合計4回、設けられています。
詳しくは、下記URLをご確認ください。

<http://shoko-shimane.or.jp/?p=15147&pr=1>



上記以外にも、様々な補助金があります。お気軽に商工会にお問合せ・ご相談ください!

新入会員紹介

年月日	事業所名	代表者名	支部	所属部会
R4/12/21	そろばんスクールseed	松原 広子	阿井	サービス業

おくいずも商工通信

Vol. 53

本所 仁多郡奥出雲町三成324-15 TEL (0854) 54-0158 FAX 54-0169
経営支援センター 仁多郡奥出雲町横田992-2 TEL (0854) 52-1119 FAX 52-1196
発行日: 令和5年 1月31日 発行者: 奥出雲町商工会

「奥出雲町商工会」は合併から16年目を迎えました

年頭ご挨拶

奥出雲町商工会 会長 植田良二

謹んで新春のお喜びを申し上げます。卯年ということで、本年が会員の皆様にとって希望に満ちた跳ねる飛躍の年となりますようお祈り申し上げます。

コロナの影響は長期化し、加えて原材料やエネルギーの高騰が地域経済に大きな影響を与えています。商工会はコロナ対策で多くの会員の相談を受け、給付金や補助金、コロナ

資金や売上確保の為の支援にあたってまいりました。またプレミアム商品券や食たび応援券など2億円を超える消費喚起事業にも取り組んでまいりました。今後も今できることに全力で当たっていく所存です。商工会は合併から16年になります。コロナ禍もですが、時々刻々と経営環境は変化しインボイスの導入、賃上げ、働き方改革、エネルギー物価対策、DX化など様々な環境変化への対応が問われる状況になっております。厳しい経営環境が続きますが、会員の皆様に伴走して支援にあたります。「商工会は企業と地域を元気にするために力を合わせて活動する拠点」として、より一層信頼の地域経済団体となるよう前進してまいりますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。



H19.4.1に行われた奥出雲町商工会本所開所式にて

3年目に突入 ~ 「おもてなし交流事業」【女性部】



体験コーナーでは奥出雲とうふ・いしだで「ゆばすくい」を体験。専用の器具でゆばをそとすくいあげ地元の醤油やポン酢を付け、食べ比べをして頂きました。

女性部では令和2年度より地元の魅力を掘り起こし旅行プランを企画する「おもてなし交流事業」を行っています。「島根の奥座敷でまったり」というネーミングで提案した所、この3年間で県内5つの女性部員さん約70名の参加がありました。今年度も斐川町商工会16名、飯南町商工会15名の女性部員さんが奥出雲町内を満喫して頂きました。4年目となる今年はプランに少し変化を付け、奥出雲の魅力が沢山の皆さんに伝えていけたらと考えております。



糸原記念館にて約40分、館内の見学や庭園を散策して頂きました。



今年度県女連事業として県内21商工会全てのおもてなし交流事業を情報発信しようとPR動画を作りました。QRコードを読み込むと各女性部の紹介プランがご覧頂けます。



11月30日 三成支部で邑南町へ視察研修に行きました！



羽須美地区の鯉養殖の傍ら古民家ゲストハウスを営む「コイサイド」を訪問！おしゃれな作りで泊まってみたい♪

三成支部13名で邑智郡邑南町へ視察研修に行きました。邑南町は人口9,961人の町で、3町が合併した面積419.29km²の広大な地域が特徴です。また広島県北広島町と隣接しており、広島との交流も盛んな地域です。

まず邑南町商工会を訪問し、おおなんカード会を視察しました。地域内で使えるポイントカードですが、現金チャージできるようになっており、お買物もできるカードになっています。またスマホアプリもあり、カード・スマホどちらでも利用できるようになっています。他にも「よしもと住みます芸人」の奥村さんからA級グルメ商品開発について講演をしてもらいました。その後は異業種に取り組む企業2件に現地視察を行いました。「奥出雲町外では、いろいろな取組をしています。商工会のネットワークを通じ、地域の最新情報を学ぶことができました！」
もっと詳しいことを聞きたい方は和久利支部長まで♪

工業部会視察研修会～品質管理と生産性向上に対する情熱と飽くなき探求心を学ぶ～

工業部会では、去る12/9に13名の参加のもと、自社の事業内容や製造工程、製造・加工品等を紹介し合い、今後の販路開拓や事業マッチング等の新たなビジネスチャンスの発掘や、部会員相互の交流を深めることを目的として会員事業所(横田地域)の視察研修会を実施しました。

当日は、ベッセルグループ内で主にピットの製造を担っておられ、店頭で販売するピットはもとより、職人の技術を活かしたオーダーメイド製品にも対応しておられる(株)ベッセル島根横田工場様、温度調節・湿度調節・制御機器のメーカーとして企画から開発、設計、製造、販売を行っておられ、顧客のお困りごとを解決する商品サービスの提供を心掛けておられる(株)ニッポー島根工場様、新工場を開設し、店舗では豆腐、油揚げ、湯葉等の販売のほか、豆腐作りや湯葉すくい体験もでき、ヘルシーな豆乳と野菜、フルーツなどを使用したスムージーやジェラートも販売しておられる奥出雲とうふ・いしだ様の3社へ伺いました。

品質向上に対する情熱と生産性向上に対する飽くなき探求心をはじめとした全社的な経営努力はもちろんのこと、我々を迎え入れるおもてなしの体制など地域社会に対する実直な経営姿勢には改めて感心いたしました。



事業計画策定セミナー～補助金採択を勝ち取るための事業計画策定のポイントとは～

激変する経営環境下における対応や新事業展開、補助金申請及び補助事業を遂行する上で強い味方となる「事業計画書」は今や欠かせない基礎資料となっています。

そこで、商工会では11/8、11/22の全2回にわたり、(株)藤井事務所代表取締役で中小企業診断士である藤井好宏氏を講師に招き、事業計画策定セミナーを開催しました。

内容は事業計画策定の重要性、自社の現状分析と克服すべき課題の検討、具体的な目標設定、補助金採択を勝ち取るための事業計画策定の手順やポイントについて、演習を交えながら学びました。

今後も、経営分析による現状把握や課題を明確にしたうえで、実効性の高い事業計画策定に関する支援を継続することで、事業者の皆様の経営課題を解決すると共に、事業の持続的発展に繋げていくことを目的としたセミナーを開催していきます。



青年部事業「おくいずも逃走中&ホッケーフェスティバル」を開催しました！

12月4日、青年部では奥出雲町の未来を担う子どもたちに向け、人気テレビ番組「逃走中」にあやかっただイベントを、昨年度に引き続き開催しました。本イベントを通じて「1人でも元気にしたい」「人と人の繋がり・地域の繋がりの大切さを感じてもらいたい」そのような思いからこのイベントを実施しました。今回は、会場を三成公園野球場に変更し、貸し切り状態にして行いました。また、午後にはホッケーフェスティバルと題し、セルリオの選手と共にホッケー教室も開催いたしました。当日は、天候の心配がありましたが、なんとか雨が降らずに無事に開催することができました。奥出雲町内のほか雲南市からも募集を募り、町内は75名、町外は48名の123名の参加があり、会場内を元気に駆け回りました。



商業部会・サービス業部会合同セミナー

11月25日雲州そろばん伝統産業会館において、商業部会とサービス業部会の合同で「なぜ今キャッシュレス決済が必要なのか」と題してセミナーを開催しました。講師には松江商工会議所IT専門相談員のシステムアトリエブルーオメガ代表きむらしのぶ氏を招きました。内容は新型コロナ前まではキャッシュレス決済というインバウンド対策であったが、今では30%台まで普及し、将来的にはキャッシュレス決済比率80%を目指しているといわれ、店舗側は盗難リスクの低減等のメリット、入金までに時間がかかる等のデメリット双方あるが、機会(売上)損失を防ぐことなどが大切だと呼びかけられました。



事業承継セミナーを開催いたしました！

12月15日に「事業承継セミナー」を開催しました。株式会社カムツリーズ代表取締役 二木 春香氏を講師に招き、自社の求めている人材を獲得・育成するために、何に気をつければよいかを学びました。労働人口の減少や働き方の多様化等の現在の採用環境について、これまでとどう違うか整理したうえで、人材要件の定義や採用プロセスの見直しといったことについて考えました。

